

総務課長：説明

田辺：順守について

リスタート 名古屋市に対して責任追及がないでよいか

館主幹：現段階で進められない場合、ご指摘の通り

田辺：一方で、昨日提出の資料 耳を傾ける趣旨

不退転の決意 「政治的な動き」とはなにか

館主幹：市長「世の中全体の動き」 世の中のすべて

田辺：プロポーザルを出してもらう際、唯一のもの

2020年7月に間に合わなくても、決まったところで続けるとありうるのか？

館主幹：現時点では2020年7月が条件

田辺：契約前 優先交渉権者と続けるのか？

館主幹：契約前に難しいとなったら法令違反になる可能性が高い

そうではないという考え方もある

田辺：「大丈夫だ」と担保したことはあるのか

館主幹：そういうことはありえない

田辺：あなた方ではない人でやることはあるのか

館主幹：我々としてはないということしか言えない

田辺：そういうことをする行為は違法か合法か

館主幹：専門家の見解があればまだしも、なければ問題

中川：3ページ4番

ポストン美術館 収入が少ない 入場者数より少ない

資料 言うと出てくる

何人まである 1の位まで。

館主幹：委員がおっしゃった通り

平成25年度アンケート 年代別比率に総務局人口推計を掛けた

360万人については他の城閣を参考に

中川：高齢者、高齢者以外

館主幹：年代別しかない

中川：360万人ありき

収支を合わせるために360万人 按分計算になる

局長からも第3者機関に委託する旨発言

館主幹：他の団体 評価は難しい

中川：入場者数見込み 収支見込み

3項目 2項目 今後第3者機関に委託

5項目に割った形で委託するのか

館主幹：何社か当たった時 他城閣の実績だけでなく、リニア、高齢者を加味

項目をあげてみた

数社としか話していない

得意・不得意

項目が増えるかもしれない

中川：費用がどれくらいかかるのか、スケジュールは

館主幹：3-4 か月 1000 万-2000 万ほどかかる

中川：大きくかい離した場合どうするのか

館主幹：そのたびごとに見直すことが必要

かい離の大きさによって市長と相談

中川：民意に忠実に行こうと思えば木造復元が 6 割

「2020 年までに」理解しない人が 7 割

この理解は共有できるか

館主幹：アンケート結果のみをみると委員おっしゃる通り

中川：アンケート結果でないものを言及したくなる

ベースになる民意を捉えきれなくなる

せっかくやったアンケート結果に忠実になるのがよいのでは

局長：「のみ」の発言

予算を提出した趣旨 耐震対策が弱い

1 日も早く何とかしなければならない

今回の予算を提案している

委員が言われる「4 割 こだわらない」

中川：木造復元は了 後世に残すのはいいものを

二の丸、さまざまなことを含めて

どういう受け止め方をしているのか

局長：2020 年 7 月 経済波及効果 期限を定めた 思いを定めた

市長 「次のビックチャンス 2027 年リニア開業」といっているのは事実

1 日も早く耐震対策を、と言うのも事実

中川：1 日も早くスピード感を持って 理解できる

ずっと先延ばしではなく、一定の期限を切った中で計画を再構築持ってもよいのでは

リニアの開業がターニングポイントになるのでは

先延ばしするわけでもなく、耐震

ゴール 2027 年という考え方は当局としてはあるのか

局長：予算の審議 大変重要なお提案 市長のほうにご報告する

市長との話の中で整理する

「2 つの大きなチャンスがある」 ありかなしか

私としてはあり

中川：局としては 2027 年も一つの選択肢か

局長：予算を提案しているのでそれをよしはしない

それも考えられる

今回の提案はいろんな思いが集まって

中川：27日も質疑をしてほしい

鎌倉：市長を呼んでほしい

中川：正副委員長一任で

丹羽：コストの評価は

渡辺主幹：学識者から意見をいただいている

竹中 事業費は根拠がある、詳細

丹羽：コンクリートが高すぎないかと指摘した

急ぐことで高くなる要素は

渡辺主幹：仮設エリア

資材を運んで コストがかさむ可能性がある

丹羽：認識が甘い 木材の調達が非常に困難

竹中 安藤ハザマ

木材 約160億円 ほとんど同じ

友達のゼネコンに聞いたら、「木材が高騰している」

名古屋市が4年で作ろうとしているから、倍になっている。

名古屋市が言いだしてから。

オイルショックのトイレットペーパー並みに急激に上がっている。

ゆっくりやれば30億、40億下げられる可能性がある。

名古屋市が高騰の原因

渡辺主幹：認識していない

丹羽：そのところ

10年やらしてもらえればもっと落ちますよ

むちゃくちゃ無理な計画

高い仕入れをしないといけない

渡辺主幹：木材等の高騰 平準化すれば

今の状況の中で事業としてご審議いただく

丹羽：月曜まで審議

木工事 主なコスト 3年前から今までのコスト 調査してほしい

渡辺主幹：確認できるのであればしたい

丹羽：積算されている。出ているはず。

主だったものの木材の価格の推移を出してほしい

渡辺主幹：経年変化 分かる範囲で出したい

丹羽：建設物価版を見ればわかる。

25日 関係者が会った

だれが会ったのか 何を話したのか

所長：1社について名古屋市 特別秘書が訪問した

内容 提案書が出せるかどうか

丹羽：トワイライトの選定 100条委員会が開かれた

どっか手を挙げてくれんか 最終的に有耶無耶

これは適切か不適切か

総務課長：公募への参加を促したのは、

ただちに不適切とは言えない

あらぬ疑いを生じさせる

丹羽：いつどういう形か資料を出してほしい

所長：昨日確認 2回訪問 2/16 もう1日は不明

江上：入場者 2万人アンケート

入場者 税金投入をしないために 360万人大前提

毎年度どのくらい

建物の規制 2010年度予算 耐震 木造化

法令上どんな問題があるか検討

建築基準法、消防法

建てることのできるから木造化

建てることはできるが、人の安全を確保

安全を確保できているか。

入場制限を検討しているのではないか

館主幹：入場制限 姫路城 15000人

名古屋城 床面積 約2倍

名古屋城は3万人をベース

最大数 名古屋城は360万人は可能

江上：名古屋市として 2010年度に調査した

どういう根拠をもって入場者を設定したのかどうか

館主幹：警備員の配置を考えている。各階に5-6名

江上：入場者の安全面 規制を考えなくてもよいということか

渡辺主幹：建築基準法 適用除外

ハード面 安全確保を検討の中で実施

江上：2010年度に検討した

建てることは除外規定

建てても入場するにあたって規制が必要か

渡辺主幹：どう避難するか、ハード面・ソフト面

引き続き検討

江上：今後は聞いていない

5年間やってきたのか 360万に反映しているのか

渡辺主幹：反映していない

江上：反映しているのか

所長：反映していない

数字は他城閣を参考に。

安全面は今後

江上：税金投入なしでやろうとすると、入場者数の数を出発してやる

館主幹：入場者数ありきで算出したものではない

江上：姫路城を参考にして 安全面はどうか

館主幹：想定した数字

人数が計算されるもの

江上：覆すものではない

アンケート 市長提案は最下位

現天守 耐震の記載は不適切

どう耐震するのかは書いてない

2020年案「税金投入しないだろう」

投入ありうるのならもっと少ない

21%を超えることはあり得ない

後の2つ 要素はいろいろある

2027年ではなくあらためて議論すべき

アンケートの表記の仕方 もっと丁寧に書くべきではないか

渡辺主幹：今後どの程度建物が持っていくのか不明

江上：石垣 国の補助金が見つからないとしない

天守閣はまったく工事したことないのではないか

名古屋市本庁舎 工事した

名古屋城 緑がたくさんありすぎた

天守閣から見ても見えない

財源は必要なものを考えて できないものをどうするか考える

斎藤：市長提案 本物の木造復元

歴史的建造物の復元

歴史的建造物の復元的整備

どちらか

渡辺主幹：史実に忠実に復元していく

斎藤：ケーソン工法、超耐久性コンクリートは史実に忠実か？

渡辺主幹：建物の状況を踏まえてどうあれば史実に忠実か考える

斎藤：これから検討する

入場者を第3者 工法も第3者か？

渡辺主幹：今回技術提案 史実に忠実な

斎藤：工法の在り方 法律もある

入口 「本物のお城」ずれ込んでいる

2020年にこだわる 天守閣のみでプロポーザル

歴史的建造物の復元

歴史的建造物の復元的整備

どちらか

所長：復元を図っていく

文化庁が総合的に判断する

斎藤：復元的整備ではないでよいか

所長：その通り

斎藤：ケーソン工法を文化庁は認めると思うのか

所長：戦争で焼けている

大規模に触ると大幅な変更になる

基本的にはケーソンを使って石垣を保存する

文化庁に認めていただけると認識

斎藤：市長「本物の城」333年もつ 334年に平和のシンボル

コンクリートの耐用年数があるから木造

ケーソン工法、コンクリート 333年もつ保証はあるのか

巨額な税負担 重要ではないか

史実に忠実な復元

耐震のための木造化

宇土櫓はなぜ残っているのか

渡辺主幹：重要文化財 内部はどうなっているか把握していない

コンクリートの耐久性 超コンクリート 500年もつであろう

できるだけいいものを

斎藤：保証がない

ケーソンも誰も見たことがない

天守閣を作ってから石垣を作るのはあり得ない

宇土櫓 なぜ石垣が残っているのか

渡辺主幹：原因はわかりかねる 石垣の上に櫓が立っていた

斎藤：3層5階 史実に忠実だからこそ残っている

本物だから

名古屋城 石垣がはらみ

あれはあれで非常に強い

なのになぜお城のケーソン

2020年にこだわるからではないか

所長：戦争で焼けた

かなり被害を受けた 荷重をかけるのは難しい

現在も荷重は厳しいから今回の提案

斎藤：熊本で崩れたのは明治に作ったもの

宇土櫓 本物のお城を追求したらよい

石垣はパネルみたいなもの

市長は本物の定義 寸法・材料が同じ

全体的に評価

市長と「本物の定義」資料として出してほしい

渡辺主幹：調整して出す

塚本：財源と木材

利払い 財政局利子率

利払いの財源は何か

館主幹：資料で出す

塚本：木材 長尺もの 2分割する 資料を出して

渡辺：59 ページ 11 メーター 2分割 通し柱

塚本：通し柱 内容 どうして2分割か、どうくっつけるか

渡辺：資料出す

田辺：月曜審議

局長答弁 提案 I S 値

1日も早く対策しないといけない

今検討しているはず

所管事務調査で報告を受ける機会があるだろう

「議案が通らないと市民の命が守れない」

それはそれであるはず 「明日からキープアウト」するとは言わなかった

耐震性能が低い 設計費用予算

仮に議会が否決・継続した場合、耐震対応に影響を与えないのか

局長：市長の方から支持を受け、6/29 に会議を予定

明らかにする

予算とは別

6/27 (月) 10:30-